

# 常樂我淨御書

系年不詳

出でさせ給ひて諸大乘経をかながへ出し、十方の浄土を立て、一切諸法は常樂我淨と云云。其の時、五天竺の十六の大国・五百の中国・十千の小国・無量の粟散国の諸小乗経の無量無辺の寺々の衆僧、一同に蜂のごとく蜂起し、蟻のごとく聚集し、雷のごとくなりわたり、一時に聚集して頭をあわせてなげいて云はく、仏在世にこそ五天の外道、我等が本師教主釈尊とわあらしが、仏は一人なり、外道は多勢なりしかども、外道はありのごとし。仏は竜のごとく、師子王のごとくまませしかばこそせめかたせ給ひぬ。此はそれにはにるべくもなし。馬鳴は一人なれども、我等は多人なれども代末すへになれば悪はつよく善はゆわし。仏の在世の外道と仏法とは水火なりしかば、